

猪名川源流を巡るハイキング（歌垣山）

今回の源流巡りは大阪府北部豊能群能勢町にある歌垣山（554m）です。「歌垣」とは、古代において人々が年2回、春に豊作を祈り、秋には収穫を感謝する行事だったものが、次第に若い男女が自分の思いを歌に託して相手に伝え、結婚の申込みをする場へ変化していったものだと言われています。九州・白石町の杵島山でこの「歌垣」が行われていたことが、『肥前国風土記』（奈良時代成立）に記録されています。その内容は、「杵島山には三つの峰があり、それぞれに比古神・比売神・御子神がいる。周辺の村人は、毎年春と秋の二回、酒を持ち琴を抱いて山へ登り、酒を飲み歌い踊る。その時に歌われている歌のひとつが『あられふる杵島岳を峻しみと草採りかねて妹が手を取る（杵島岳があまりにも険しいので、草をつかみながら上ろうとしていたが手が滑ってしまい、思わず恋しい人の手をつかんでしまった）』であり、杵島曲と呼ばれている」というものです。

このような「歌垣」が行われていたことが確認できるのは、常陸国（現在の茨城県）の筑波山（茨城県つくば市）・摂津国（現在の大阪府・兵庫県）の歌垣山（大阪府能勢町）であり、肥前国（現在の佐賀県）白石町杵島山の歌垣とあわせて「日本三大歌垣」と呼ばれています。

- 1：日 時 27年5月7日（木曜日） 雨天判断 6日の大阪北部で降水確率50%場合は中止します。
- 2：集合場所 能勢妙見口駅改札口 9時30分 能勢町宿野行きバス 9時47分発に乗車 ピタパOK
- 3：持ち物 弁当、水筒、雨具、ストック、その他
- 4：行 程 歌垣山登山口・尾根分岐・男山山頂・尾根分岐・女山山頂（昼食）・堀越峠・奥の院分岐・妙見奥の院・奥の院分岐・池・野間大原・本滝口バス停（時間があれば野間の大ケヤキを見学します） 本滝口バス停 15時18分に乗車
- 5：経 路 下の地図参照 走行距離 8Km



バス停から少し戻ったところに登山口があります。



登山口

尾根分岐まで約45分程ですが、少々急坂です。ゆっくりと歩いて行きます。



女山山頂の三角点

担当 万井、後藤、大石、李三

猪名川源流を巡るハイキング (歌垣山) の記録

日 時 27年5月7日 (木曜日)
集 合 能勢電鉄妙見口駅 9時30分
参加者 浅野・石原・大石・児玉・坂根・杉谷・中東・並木・日景・藤井・前窪・
前野・万井・李三 (14名)

妙見口駅前より能勢宿野行きバス (9:47) に乗り、歌垣山登山口バス停で下車 (10:05)。登山口には 歌垣山の縁起が書かれた看板があり、歌垣及び歌垣山の説明を李三さんより聞きました。未婚の若者は定められた日に頂きなどに集まり 即興の歌を交わし結婚の相手を決めていた習わしを歌垣又は歌耀(かがい)と言ったそうです。スタートしてすぐ周りの農家から多数の飼いイヌに凄まじく大きな啼き声で吠えられて・・・これは歓迎の挨拶でしょうか?・・・山中へと入りました。 小さな祠や小さな滝があり、木の階段そして小さな橋を過ぎるとガラゴロした石の道、何の為に作られているのか分からない石を重ねて作った井戸状の穴などがあり、とても歩きにくい道が暫らく続きました。山道は背の高い木々が日光を遮り 山草の花をほとんど見ることが出来ませんでした。途中3回程休憩をとりながら 勾配のかなりキツイ坂を登って 歌垣山の石碑がある男山山頂 (歌垣山公園広場) に到着 (11:10) すると、すぐにかなり早い昼食が始まりました。広場周辺にはミツバツツジが数本淡い紫色で咲いていました。ゆっくり昼食と休憩の時間を取り出発 (11:50)。そこから10分も歩くと三角点と 553.5mの表示がある女山山頂に出ました。周りには小さくて かわいいチゴユリの花がたくさん咲いていました。

下山は 登り道より更に急勾配の坂道です。30分程歩いて車道を横切り、妙見奥の院に向かう途中 ホトトギス他数種の鳥のさえずりが聞こえてきました。奥の院近くの三叉路周辺で咲いていたチゴユリの中に2輪の花が見つかり これはかなり珍しいとの話がありました。



勾配のキツイ坂



2輪のチゴユリ

少し進むと きれいな鳥のさえずりが聞こえ「ここで寝転がって しばらく鳥の声聞いていたいなあ・・・」との声が聞こえました。

ここからまた上り坂に入りやっと奥の院到着（13：05）。境内に立派なカシの大木がありました。再び坂を下り、本滝寺方面へと進み、30分程歩くと野間大原の集落が見えてきました。

入口に「アニマル レフーズ関西」と書かれた建物が現れました。ここでまた けたたましく鳴く犬の声の歓迎です。ここはごく最近TVでも報道された 捨て犬を引き取り保護・管理をしている施設だそうです。集落に入ると きれいに咲いた桐の花が見られました。建物の影で少し休憩を取って、近くで畑仕事をしている方に道を聞いたりしながら 舗装道路を急ぎ 途中「野間の力石」（高田高夫氏屋敷内から出てきた）を見て、最終目的地の「野間の大けやき」に到着（14：40）しました。国指定の天然記念物に指定されている「蟻無宮の御神木」で 幹回り14m超、高さ36m、樹齢千年を超えと言われ、府下一番で 全国では四番の大木だそうです。「これは凄い！」との感嘆の声が周りからも聞こえてきました。本滝口からバスで 妙見口駅に戻り 駅前で解散となりました。



担当：柰三・大西・後藤・万井

写真：柰三 記録：万井